



2020年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社イデアインターナショナル
 コード番号 3140 URL <http://www.idea-in.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 正人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営情報部長 (氏名) 松原 元成

TEL 03-5446-9505

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	7,849	6.1	142	51.8	34		108	
2019年6月期第2四半期	7,399		296		158		59	

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 95百万円 (%) 2019年6月期第2四半期 59百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	7.59	
2019年6月期第2四半期	4.17	

(注) 当社は、2018年6月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年6月期第2四半期の対前年同四半期増減の記載は行っていません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	9,233	4,002	43.3
2019年6月期	8,531	4,155	48.7

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 4,002百万円 2019年6月期 4,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		4.00	4.00
2020年6月期		0.00			
2020年6月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,900	4.9	650	3.3	450	1.3	250	48.1	17.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期2Q	14,717,350 株	2019年6月期	14,717,350 株
期末自己株式数	2020年6月期2Q	374,715 株	2019年6月期	374,715 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期2Q	14,342,635 株	2019年6月期2Q	14,342,662 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、2020年2月12日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年6月期第2四半期連結累計期間(2019年7月1日～2019年12月31日)におきましては、キッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」が引き続き好調に推移しており、売上高は前年同期比106%となりました。

主力商品のコンパクトホットプレートが、11月から12月にかけて初めてのテレビCMを放映したほか、キッチン関連の人気商品を紹介するテレビ番組に登場したことによりブランドの認知度が向上し、クリスマスのギフト商戦等で売上を牽引しました。また、インテリア関連では冬季に人気の暖房・健康機器として「マルチふとんドライヤー」や「ハイブリッドUV加湿器」が売上を伸ばしました。海外においても「ブルーノ」ブランドの好調が続いており、特に中国での11月の「独身の日」におけるホットプレートやホットサンドメーカーの販売が売上に大きく貢献し、海外における売上は前年同期比121%と大きく伸ばしました。

トラベル商品ブランド「ミレスト」につきましては、シーズン限定カラーのバッグ類や定番リュックのバリエーション追加が好評で売上に貢献しました。また、子会社の株式会社シカタもバッグ商品のOEM販売を中心に売上が堅調に推移し、結果として当第2四半期連結累計期間の売上高は、消費税の影響による売上の鈍化はあったものの累計期間過去最高の7,849百万円となりました。

利益につきましては、売上拡大を図るべくテレビCMなど積極的に宣伝販促を実施する一方、キャッシュフロー改善を目的に棚卸在庫の大幅な削減も実施した結果、売れ筋商品の欠品など売上機会損失が発生し、営業利益は前年同期を下回り142百万円となりました。また、株主優待関連費用の増加により経常損失は34百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は108百万円となりました。セグメントの業績は以下のとおりであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業においては、前述の通りキッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」が、主力商品のコンパクトホットプレートや季節商品の加湿器等で売上を牽引しました。また、子会社の株式会社シカタのバッグ商品の売上も堅調に推移し、売上高は4,764百万円、営業利益は598百万円となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業においては、SNS等の広告効果によって新規顧客やリピート顧客が大幅に増加したEコマースでの販売が好調で、前年同期比150%と大きく伸ばしました。また、実店舗においても、売り場の改装や翻訳機導入による外国人顧客への接客改善などで魅力向上を図り、売上高が前年同期比110%と売上増加に貢献しました。さらに株式会社シカタの小売売上も堅調に推移し、売上高3,072百万円、営業利益は112百万円となりました。

デザイン事業においては、売上高12百万円、営業利益は12百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、9,233百万円(前連結会計年度末は8,531百万円)となり、701百万円増加しました。

流動資産は、7,152百万円(前連結会計年度末は6,410百万円)となり、741百万円増加しました。これは借入金の追加等による現預金の増加(969百万円)、売掛債権の増加(367百万円)および商品及び製品の減少(780百万円)等があったことによるものであります。

固定資産は、2,076百万円(前連結会計年度末は2,112百万円)となり、36百万円減少しました。これは有形固定資産の増加(37百万円)と、無形固定資産の減少(18百万円)、投資その他の資産の減少(54百万円)があったことによるものです。

流動負債は、3,854百万円(前連結会計年度末は2,822百万円)となり、1,031百万円増加しました。これは短期借入金等の増加(869百万円)と未払消費税等の増加(63百万円)があったことによるものであります。

固定負債は、1,376百万円(前連結会計年度末は1,554百万円)となり、177百万円減少しました。これは長期借入金の減少(152百万円)があったことによるものであります。

純資産は、4,002百万円(前連結会計年度末は4,155百万円)となり、153百万円減少しました。これは利益剰余金の減少(166百万円)があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年8月8日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	785	1,754
受取手形及び売掛金	1,755	2,122
商品及び製品	2,819	2,039
その他	1,057	1,242
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	6,410	7,152
固定資産		
有形固定資産	756	793
無形固定資産		
のれん	628	592
その他	90	107
無形固定資産合計	718	700
投資その他の資産	636	582
固定資産合計	2,112	2,076
繰延資産	9	4
資産合計	8,531	9,233
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	901	967
短期借入金	582	1,451
1年内返済予定の長期借入金	589	594
引当金	89	62
その他	659	778
流動負債合計	2,822	3,854
固定負債		
長期借入金	1,289	1,137
退職給付に係る負債	179	163
引当金	18	20
その他	65	56
固定負債合計	1,554	1,376
負債合計	4,376	5,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,509	1,509
資本剰余金	1,818	1,818
利益剰余金	917	750
自己株式	△82	△82
株主資本合計	4,162	3,996
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△5	6
為替換算調整勘定	△2	△1
その他の包括利益累計額合計	△7	5
純資産合計	4,155	4,002
負債純資産合計	8,531	9,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
売上高	7,399	7,849
売上原価	4,472	4,756
売上総利益	2,927	3,093
返品調整引当金戻入額	17	13
返品調整引当金繰入額	16	10
差引売上総利益	2,928	3,095
販売費及び一般管理費	2,632	2,952
営業利益	296	142
営業外収益		
為替差益	15	2
その他	3	5
営業外収益合計	19	8
営業外費用		
株主関連費用	113	140
その他	43	45
営業外費用合計	157	185
経常利益又は経常損失(△)	158	△34
特別損失		
減損損失	18	4
固定資産除却損	—	5
工場閉鎖損失	—	14
その他	0	0
特別損失合計	18	23
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	140	△57
法人税、住民税及び事業税	42	32
法人税等調整額	38	18
法人税等合計	80	51
四半期純利益又は四半期純損失(△)	59	△108
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	59	△108

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	59	△108
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	0	12
為替換算調整勘定	△0	1
その他の包括利益合計	△0	13
四半期包括利益	59	△95
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59	△95

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。